

あいが隊 新聞

本多
紗智前田
美沙西野
明花篠田
大樹片山
素晴

Vol. 88

2020年8月27日

編集者：片山 素晴

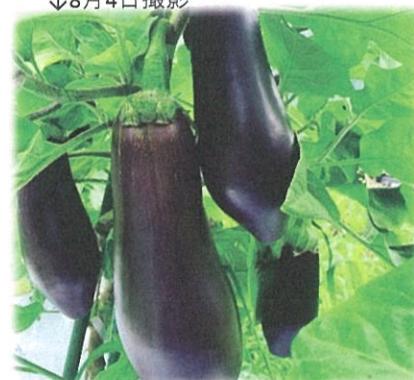
天龍村の皆様、 大変ありがとうございました

H28年にあっぱれ！天龍村あいが隊に入りました。途中、村で初めての産休等を取らせていただき復帰。そして、ようやくこの8月末を持ちまして任期満了となりました。長い間大変お世話になりました。

私があいが隊新聞に載った一番初めは、「ななめに暮らす夏休み」に参加したH24年8月vol. 17でした。そこから天龍村に出会った私の人生は目まぐるしく変わりました。就任した時の新聞H28年9月vol. 42の自己紹介の欄で任期中やりたいことが3つ書いてありました。

「①村を歩いてまわって知りたい。知って伝えられるようになりたい。②天龍村ファンを増やしたい。③アンケートを活かして、天龍村の経済に少しでも働きかけたい。」振り返ってみると、見守り・買物ご用聞き事業が始まったおかげもあり、最初に思い描いたやりたいことは出来たのかなと思いました。

張うにます。高さも感じていません。今後さらに収穫出来るようになります。地域の需要が高まり、声をかけてもらいたいと思います。管轄出来るようになります。今後さらに地域の需要が高まり、声をかけてもらいたいと思います。

ていざなす ↑8月5日撮影
↓8月4日撮影

私生活では任期中に大学卒業・結婚・出産とたくさんのライフステージを登りました。周りの方々の支えのおかげで、とても成長させていただきました。ここで暮らしていく良かったなど、いつ思ってもそう感じます。

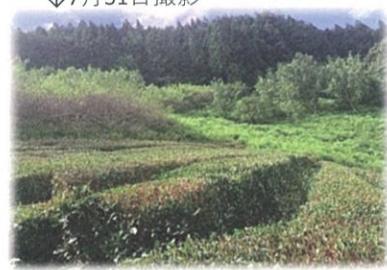
退任後も見守り・買物ご用聞き「やまびこデリ」の一員として村中を回る予定です。学生時代の通っている頃・任期中・退任後も変わらず天龍村のためになるように他の活動も継続していく予定です。

あいが隊新聞は、私にとって伝えきれない想いをお伝えする場として書かせていただきました。新聞からは卒業しますが、やまびこデリのチラシはつくっておりますので、そちらにつぶやかせていただきます。

今後とも西野明花をよろしくお願ひします。



(文：西野明花)

茶畠 ↑7月24日撮影
↓7月31日撮影

↑七月二十七日撮影



七月は雨が多く、思うように作業が進まない時もありましたが、お茶畠約四十アールの整枝・草刈り作業を何とか終わらせることができました。その中で中井侍駅の下の茶畠で土砂崩れが起きました。そこでそれも今後できる限り対応していきたいです。

七月からの活動

(文・篠田 大樹)

まだの天龍山墓らし~入門~

文：前田美沙



長い梅雨が明け、天龍村も夏到来と
いう暑さになりました。
お盆を前になんとか自分が管理して
いる中井侍地区の茶畠の整枝と、その
他作業依頼の茶畠の整枝を終えること
ができました。途中長雨などにより作
業がうまく進まなかつたりもしました
が、昨年よりも多少は無駄な動きが
減つてきましたようで昨年以上の面積を整
備することができます、ホツとしています
とはいえお茶の世界は果てしなく奥深
く、まだまだ向上しなければならない
ことが山ほどあると感じています。
年に一度の茶摘みに辿り着くまでの
一つ一つの作業を、これからも先輩方
にご教授頂きながら自分のものにして
いけたらと感じています。
そして最近はもうひとつ興味深い出
来事がありました。諏訪市在住の茶道
の裏千家の方に、中井侍茶を抹茶と同
じくらいの細かさに挽いた粉末を茶せ
んで立てて頂く機会があつたのですが
それが予想以上に美味しく、抹茶の口
の方も感動する味わいでした。中井
侍茶独特的甘い香りが際立ち、口に含
んだ瞬間はお茶の苦みを感じるのです
が後味がびっくりするほど甘いのです
厳密には栽培過程と製茶方法が違うた
め正式な「抹茶」とは呼べないのです
が、抹茶に全く引けを取らない味で新
たな楽しみ方を見出すことができま

協力隊任期も、早いもので残り半年間となりました。残り期間の過ごし方ですが、新しいことをやるよりは、今やっていること（四季の広報誌＆村民ききがたり冊子）の質を高めながら地域活動への参加や、村の方々と交流する時間の大切にしていきたいなと思っています。

私の協力隊としての取り組みの大半は、来た当初のプランには無かつたことが多いですが、天龍村に来なければやらなかつたこと・できなかつたことも沢山あるのではと感じます。村人のライフレビューストリーやお祭りの記録を残したり、自分なりの形で情報発信していくことが、少しでも村の未来に繋がることを願いつつ、時間を無駄にせず過ごしていきたいです。

四月頃から撮影と編集を続けていた写真広報誌「天龍百景・春号」が完成しました。お盆明けくらいにはふるさと納税寄付者の元へ到着するようなので、これを見ながら天龍村の春の風景に想いを馳せてもらえた嬉しいです。今年はコロナの影響で各イベントや祭りが中止になつていることもあり、夏号からはより日常生活に密着したデイ一プな内容にしていく予定です。

異様なまでの長雨もようやく終わり、暑さの真っ只中ですが、いかがお過ごしでしょうか。大規模土砂災害による崩落等も未だ心配ではありますか、けが人などは出ていない様子なので少し安心しています。

刻々天龍村

葉月だより
記・本多紗智

と

じ

し

ろ

素晴らしい暮らし

境で作物にとつても厳しい環境でました。この様な難しが境でました。この様な難しが現す。農業の奥深さを感じられました。いいろいろ考へたり調べたりして、いいろいろ時期を経験すると、いいろいろなことを学ぶことができました。

(記・片山素晴)